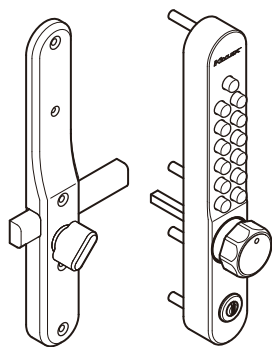


KEYLEX[®] 800

KL800
面付本締錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22804
22804M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 800 シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は本証のお買い上げ日及び販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名： **キーレックス 800 22804, 22804M**

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

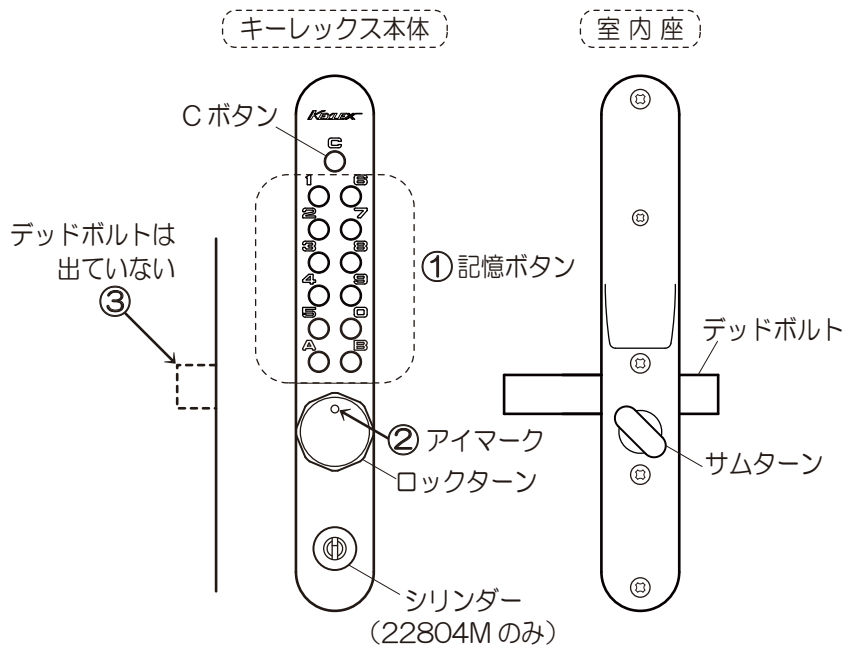
基本操作

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが真上にある
- ③ 室内座のデッドボルトが扉から出ていない

鍵付タイプの場合は、記憶ボタン操作を行わずにキー操作で開扉できます。

※ 図は右吊元仕様です
(吊元については4ページ参照)



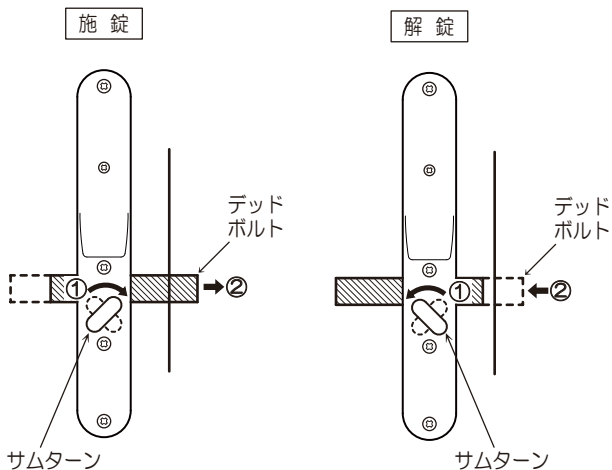
室内側

施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが納まり、解錠されます



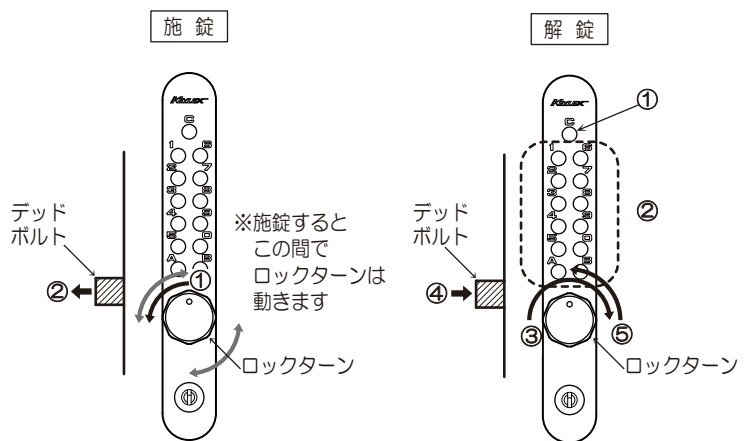
室外側

施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① Cボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶ボタンを押します
- ③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコ位置になる）
- ④ デッドボルトが納まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→上）

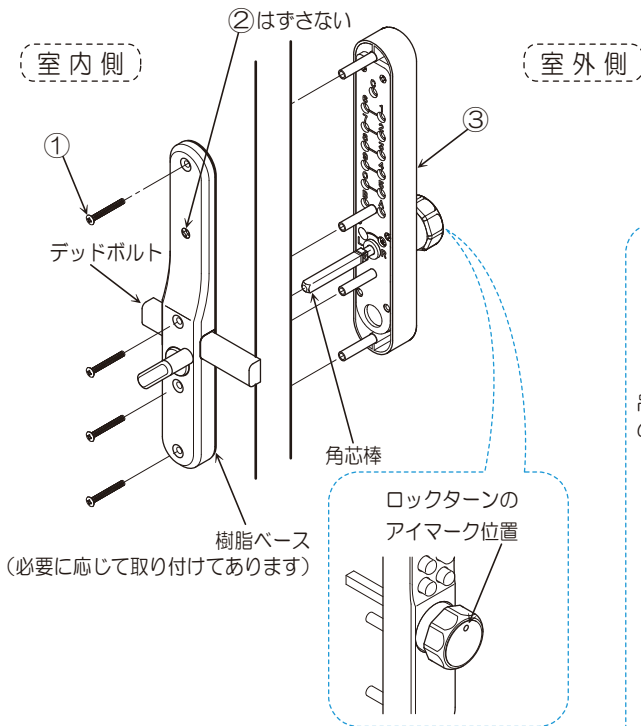


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。

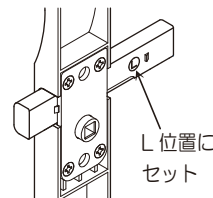
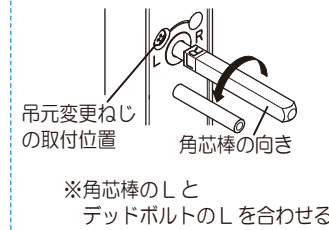


I: ①本体固定ねじ 4本をはずします。

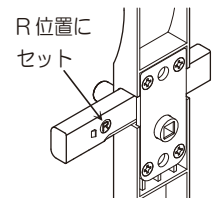
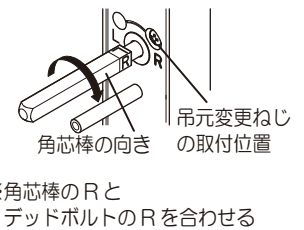
②室内座固定ねじは、はずさないでください。
(扉に室内座を固定しています)

II: ③キーレックス本体を取りはずします。

左吊元取付時の位置

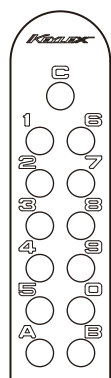


右吊元取付時の位置

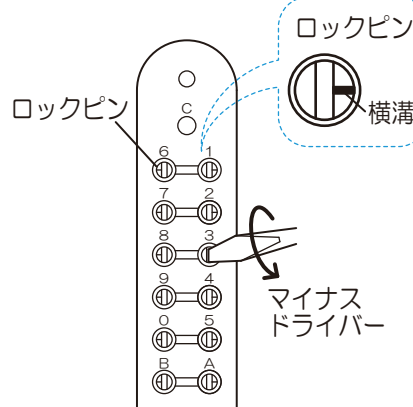


【2】記憶番号の設定変更をします

- ① 本体表側のCボタンを押します。
- ② 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ（右側は左回転，左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする）すべてをクリアします。
- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります。
- ④ 新規記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませす。

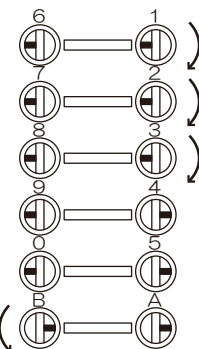


本体表側



本体裏側

例：B 1 2 3



- ⑤ Cボタン+新規記憶ボタンを押し、ロックターンの解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

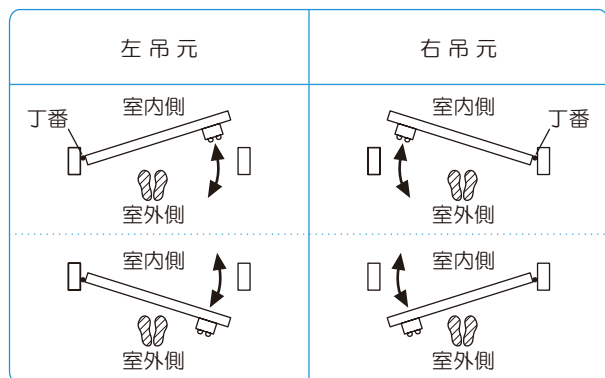
【1】と逆の順番で取り付けます

アイマーク、角芯棒、デッドボルトの向きに注意して取り付けます（上図参照）。

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの基本操作で作動確認をします。

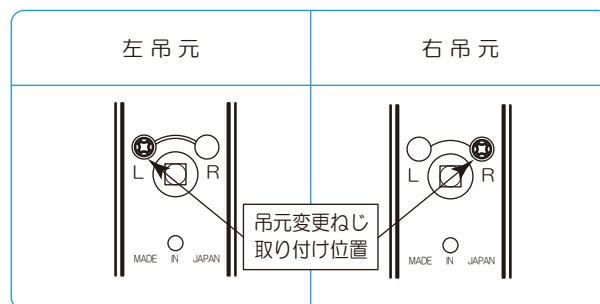
吊元と吊元変更ねじの確認

- 【1】下図で扉の吊元を確認します。
キーレックス本体（ボタン側）から見て
扉の丁番が右か左のどちらについているかで
判断します。



- 【2】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじの位置を確認します。

吊元変更ねじの入れ替え時は、ねじをしっかり締め付け、
ロックターンが回せるかを確認します。
ロックターンが回れば、ねじの入れ替えは完了です。
回らなければ、ねじの締め付け不足です。
奥まで締め付けてください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL800 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- | | |
|--------------------------|--|
| ■ 取付ねじのゆるみ | ● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的につき締めしてください。 |
| ■ 受座の飛び出し | ● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。 |
| ■ 他の用途への使用 | ● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。 |
| ◆ 操作上の注意
(故障の原因となります) | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品の分解、改造はしないでください。 ● テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。 ● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。 |
| ◆ 永くご使用頂くために | <ul style="list-style-type: none"> ● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。 ● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。 |

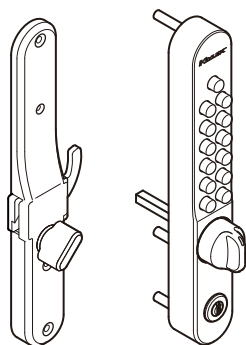
ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX[®] 800

KL800
面付引戸鎌錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22805
22805M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 800 シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は本証のお買い上げ日及び販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名： **キーレックス 800 22805, 22805M**

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

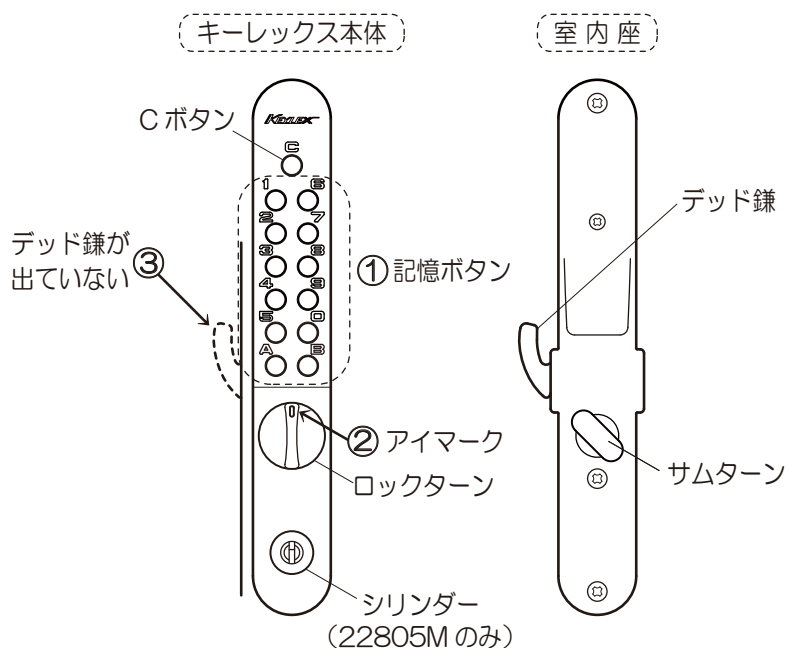
基本操作

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが真上にある
- ③ 室内座のデッド鎌が扉から出ていない

鍵付タイプの場合は、記憶ボタン操作を行わずにキー操作で開扉できます。

※ 図は右勝手仕様です
(開き勝手については4ページ参照)



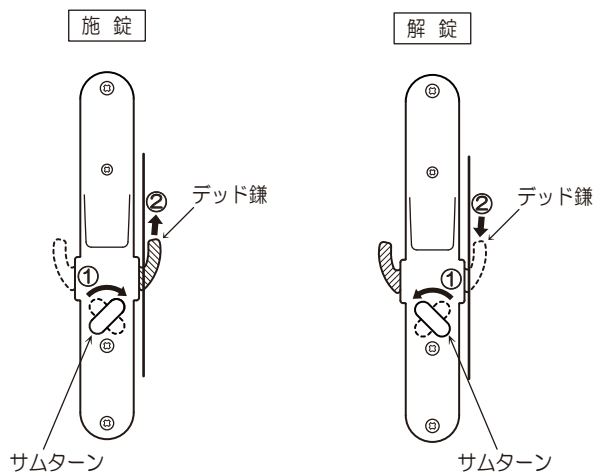
室内側

施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッド鎌が出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッド鎌が納まり、解錠されます



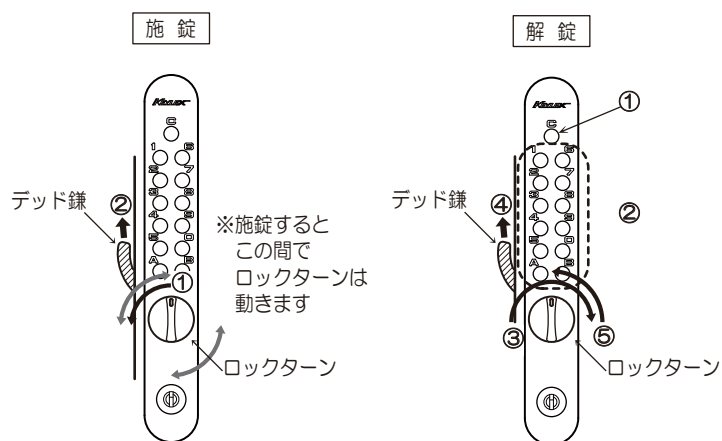
室外側

施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッド鎌が出て、施錠されます

解錠

- ① Cボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶ボタンを押します
- ③ ロックターンを回しきります (アイマーク：ヨコ位置になる)
- ④ デッド鎌が納まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します (アイマーク：ヨコ→上)

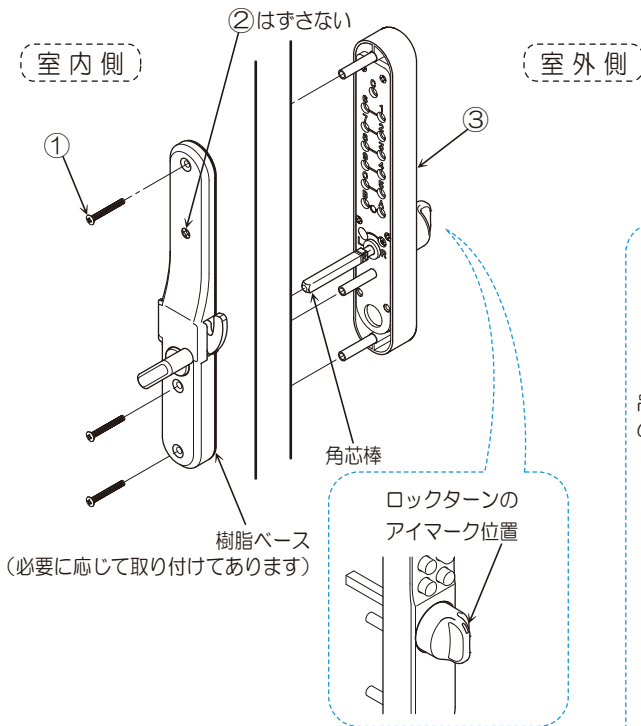


※ 本図は右勝手仕様です。左勝手時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



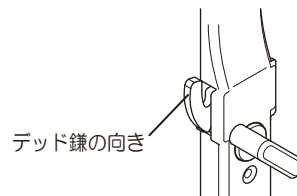
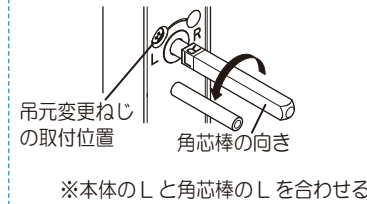
本図は右勝手仕様（左勝手は対称）

I：①本体固定ねじ3本をはずします。

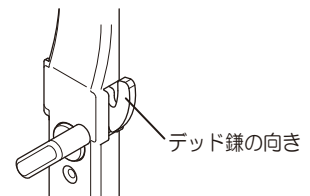
②室内座固定ねじは、はずさないでください。
(扉に室内座を固定しています)

II：③キーレックス本体を取りはずします。

左吊元取付時の位置

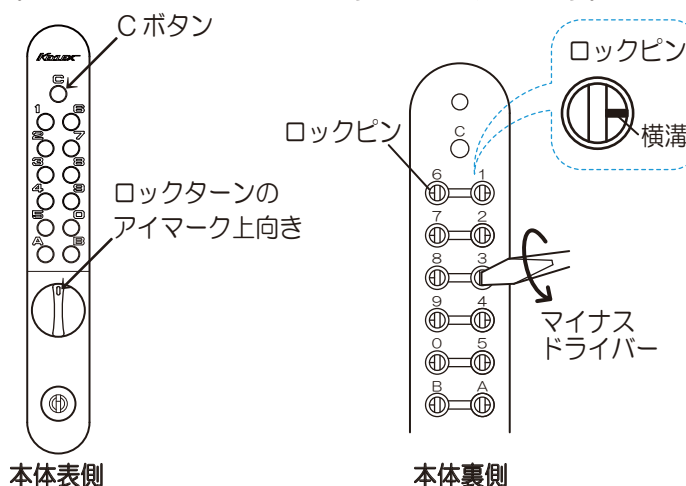


右吊元取付時の位置

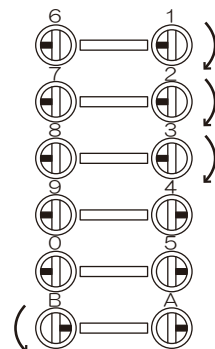


【2】記憶番号の設定変更をします

- ① ロックターンのアイマークを上向き（下図の位置）に固定します。本体裏側のCボタンを押します。⑤まで、記憶ボタンは押さないでください。
- ② 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ（右側は左回転，左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする）すべてをクリアします。
- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります。
- ④ 新規記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませす。



例：B 1 2 3



- ⑤ Cボタン+新規記憶ボタンを押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。 基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

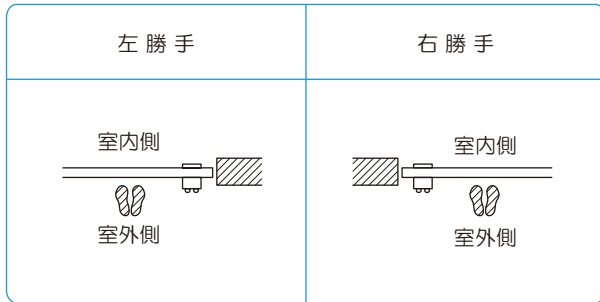
【1】と逆の順番で取り付けます

ロックターンのアイマーク、角芯棒、デッド鎌の向きに注意して取り付けます（上図参照）。

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの基本操作で作動確認をします。

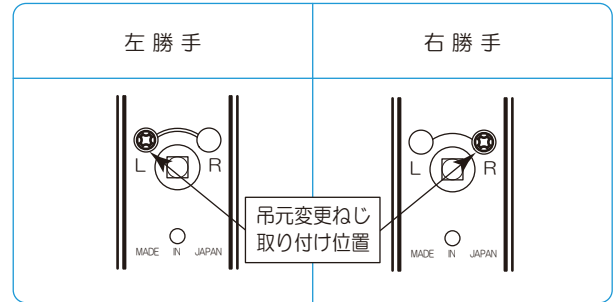
扉の開き勝手と吊元変更ねじの確認

【 1 】 下図で扉の開き勝手を確認します。



【 2 】 ①キーレックス本体裏の吊元変更ねじの位置を確認します。

吊元変更ねじの入れ替え時は、ねじをしっかり締め付け、ロックターンが回せるかを確認します。ロックターンが回れば、ねじの入れ替えは完了です。回らなければ、ねじの締め付け不足です。奥まで締め付けてください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL800 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。(同じボタンを 2 度押しする設定はできません)
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的につき締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッド鎌を突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかい布で拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

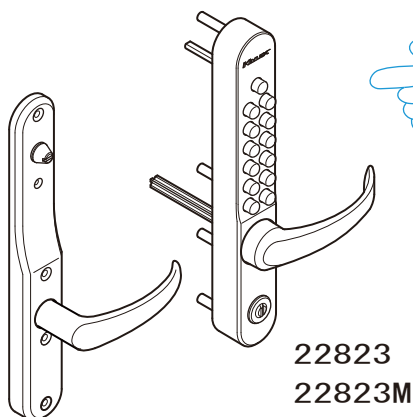
ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

KEYLEX[®] 800

KL800
自動施錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

キーレックス 800 シリーズ 保証書

お買い上げ日から1年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する
故障、又は本証のお買い上げ日及び販売店名の欄に記入がない場合は、
保証期間内でも有料修理になります。

機種名： **キーレックス 800 22823, 22823M**

お買い上げ日： 年 月 日 保証期間：お買い上げ日より1年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.

検印



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

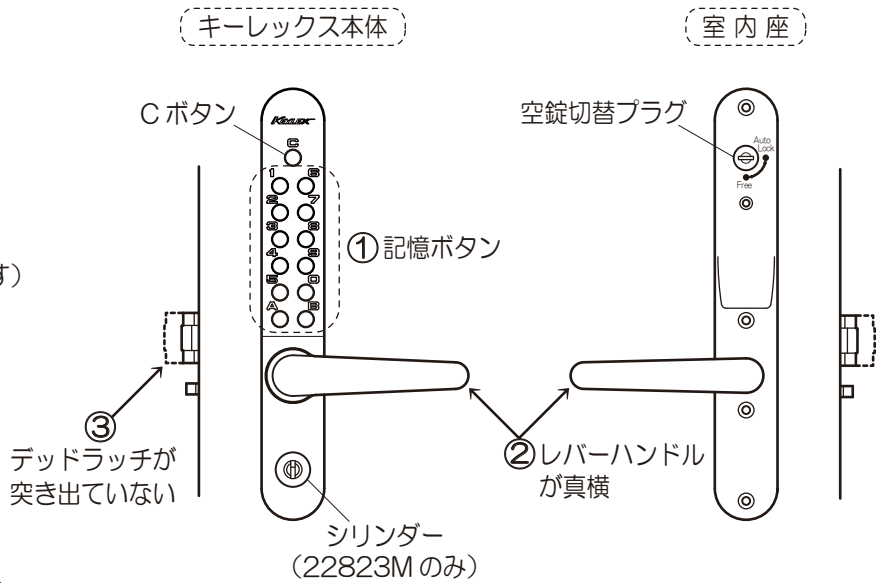
ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② レバーハンドルが真横にある
- ③ 錠のデッドラッチが突き出ていない
(突き出ている場合は、レバーハンドルを操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)

※ 鍵付タイプ（品番末尾 M）の場合は記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

I：キーをシリンダーに入れ回す
(デッドラッチのみが引き込まれる)

II：キーを回したまま（戻さずに）、レバーを引いて（外開き時）開扉する



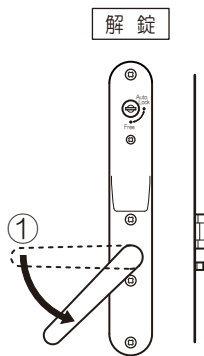
室内側

施錠

- ① 扉を閉めると、自動で施錠されます【Auto Lock 時】

解錠

- ① レバーハンドル操作で、解錠できます



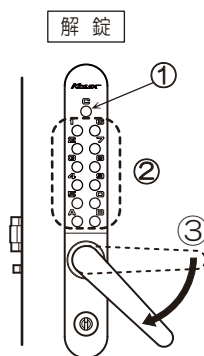
室外側

施錠

- ① 扉を閉めると、自動で施錠されます【Auto Lock 時】

解錠

- ① Cボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ レバーハンドル操作で、解錠できます

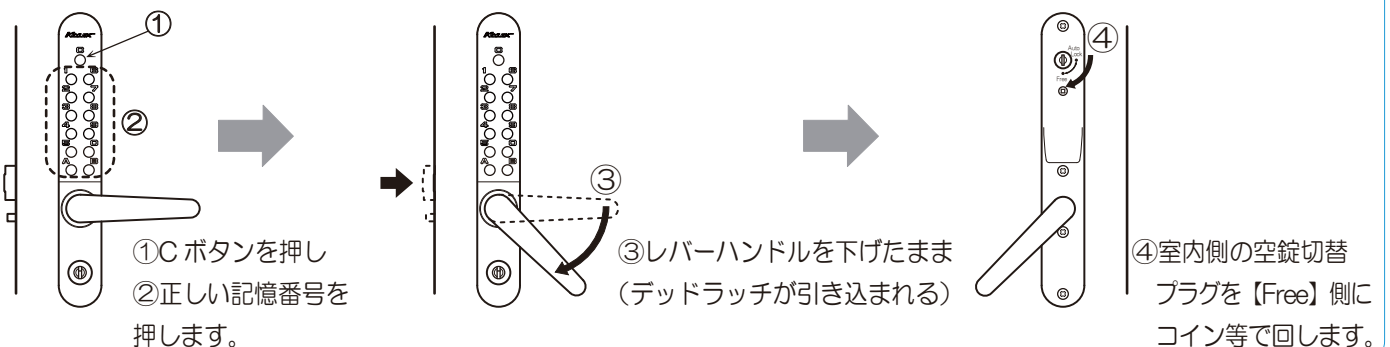


【鍵付タイプ】はシリンダーにキーを入れて回したまま扉を開けます（レバーハンドルは下がりません）

※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

空錠切替プラグで、扉を閉めても鍵がかからない状態【空錠】にすることができます（【Auto Lock】から【Free】）。

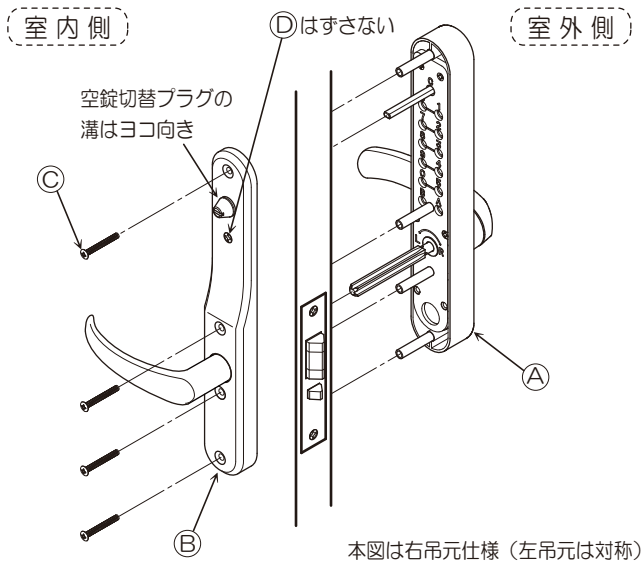
【Free】から【Auto Lock】へは、レバーを下げたまま、室内側の空錠切替プラグを【Free】から【Auto Lock】にします。



記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

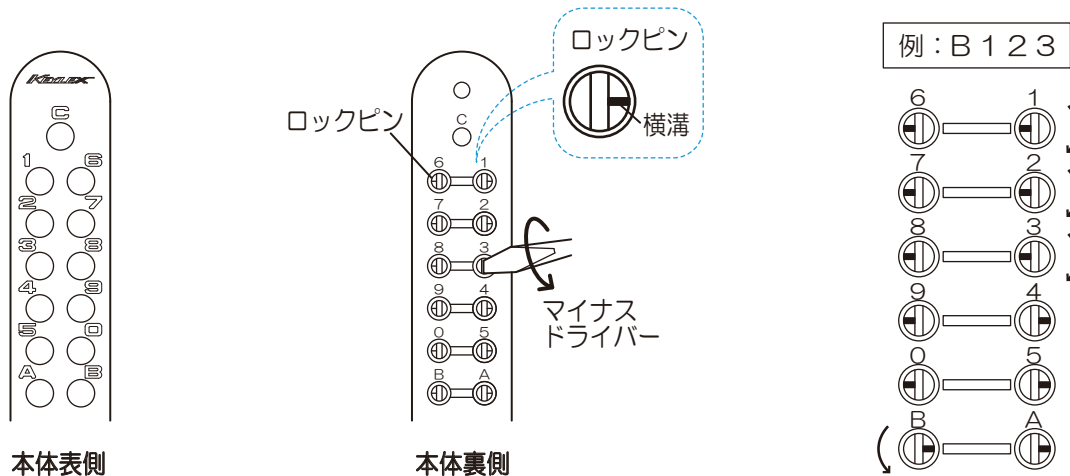
⑥室内座の空錠切替プラグの溝はヨコ向き【Auto Lock】で外します。取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



- I: ① 本体固定ねじ 4 本をはずします。
 ④ 室内座固定ねじは、はずさないでください。
 （扉に室内座を固定しています）
- II: ② キーレックス本体を取りはずします。

【2】記憶番号の設定変更をします

- ① 本体表側の C ボタンを押します。
- ② 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ（右側は左回転、左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする）すべてをクリアします。
- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。本紙 1 ページに記入欄があります。
- ④ 新規記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませす。



- ⑤ C ボタン+新規記憶ボタンを押し、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。 基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます

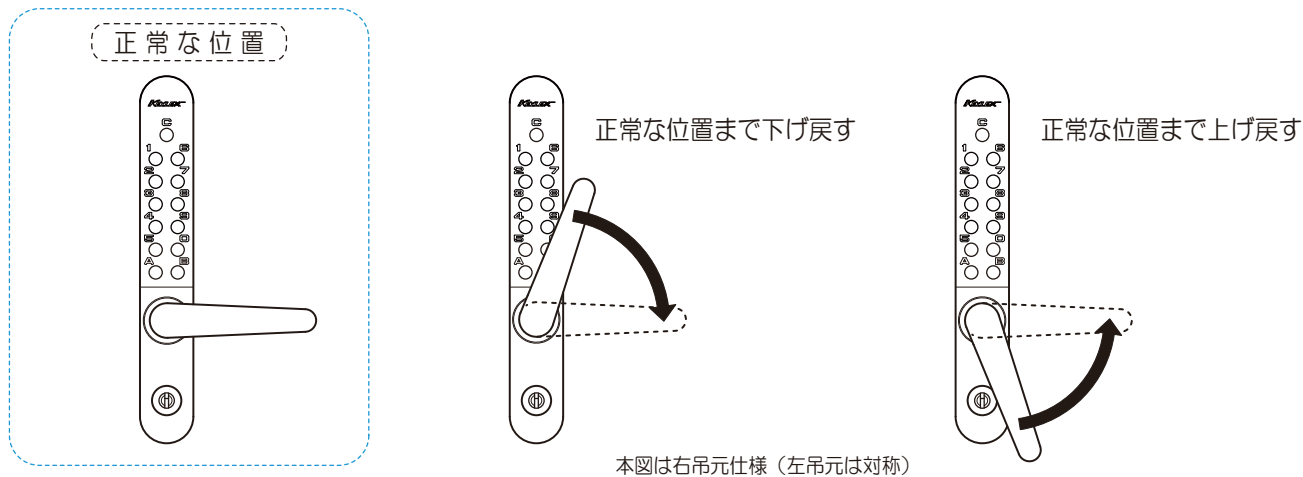
空錠切替プラグの溝はヨコ向き【Auto Lock】で取り付けます（上図参照）。

取り付けたら、扉を閉めずに 2 ページの基本操作で作動確認をします。

レバーハンドルの位置が正常でない時

レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。



記憶番号設定に関するご注意

- KL800 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に入れ締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - レバーハンドルにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意
(故障の原因となります)
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、レバーハンドルの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。